

## ～学び事・習い事の実施率は？ 実施しない理由は？～ 学び事・習い事の実施率に関する調査

- この1年間で「学び事・習い事」の実施率が最も高いのは女性20～24歳、男性25～29歳
- 男女とも「学ぶ人は何度も学ぶ」「実施しない人はずっと実施しない」状況に、二極分化
- 学び事・習い事を実施しない理由は「学習費用がかかる」「仕事で疲れていてやる気が起きない」

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：山口 文洋）が企画・運営する講座・レッスンの資料請求・予約サイト『ケイコとマナブ.net』は、学び事・習い事事情を把握するため、全国の働く男女を対象に「人気おケイコランキング」調査を実施しています。今回はその結果から、年齢帯別に比較した調査結果がまとまりましたので、その概要をご報告いたします。  
 なお、結果は『ケイマナニュース！』でも紹介しています。<http://www.keikotomanabu.net/news/>

### 結果の要約

#### ◇学び事・習い事の実施率 ～年齢帯別・属性別比較～

…P.3～5

- 「学び事・習い事」の実施率は、男女とも20代～30代前半が高くなる傾向
- 「学び事・習い事」の未経験率は5割弱～6割で年齢が上がっても変わらない

社会人に対し、2017年に勤務先の指示ではなく学び事・習い事を実施したかどうかを問うたところ、女性では20～24歳、男性では25～29歳が最も高い。

男性では35歳以降年齢が高くなるとともに実施率は下がる傾向にあり、特に55歳以上の年代の実施率は10%を切っている。

また、「過去に実施したことはない」と答えた比率を集計したところ、女性では全年齢帯で50%前後、男性では34歳まででは年齢が上がるごとに未経験者は少なくなるものの、35歳以上ではどの年齢帯でも50%を超えている。

過去の経験を含めて問うているため、多くの人が学び事・習い事を実施していれば未経験率は下がっていくはずだと考えると、**学び事・習い事を何度も実施する人と、まったく実施しない人に二極分化**していることが推定される。

#### ◇学び事・習い事を「実施しない理由」

…P.6

- 学び事・習い事を実施しない一番の理由は「学習費用がかかる」
- 「最も大きな理由」では「学習費用がかかる」に続いて「仕事で疲れていてやる気が起きない」「やってみたい学び事・習い事が見当たらない」

過去1年間に学び事・習い事を実施しなかった人にその理由を問うたところ、「学習費用がかかる」「仕事で疲れていてやる気が起きない」「勉強時間がなく続けられなさそう」「やってみたい学び事・習い事が見当たらない」の4つの理由を挙げた人が多数を占め、**費用面での問題に加え、学び事へのモチベーションが喚起されていないことが要因**であることが推定される。

【本件に関するお問い合わせ先】

[https://www.recruit-mp.co.jp/support/press\\_inquiry/](https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/)

# 調査概要と回答者プロフィール

## 【ケイコとマナブ 学び事・習い事実施率調査 調査概要】

調査目的： 日本の働く男女の学び事・習い事の実施率、および非実施理由を把握する

調査対象者： 全国20～69歳の働く男女（株式会社マクロミルのモニター）

調査方法： インターネットアンケート調査

調査期間： 2017年12月22日(金)～12月25日(月)

回収数： (人)

	男性	女性	計
20～24歳	98	169	267
25～29歳	414	484	898
30～34歳	862	651	1,513
35～39歳	409	588	997
40～44歳	664	633	1,297
45～49歳	798	569	1,367
50～54歳	654	848	1,502
55～59歳	633	545	1,178
60～69歳	355	226	581
合計	4,887	4,713	9,600

あらかじめ設定した下記の6ブロックの地域から、平成22年国勢調査の人口比率で男女／年齢帯別に回収

【北海道・東北地方】  
北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

【関東地方】  
東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県

【中部地方】  
愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県

【関西地方】  
大阪府、京都府、奈良県、兵庫県、滋賀県、和歌山県

【中国・四国地方】  
岡山県、広島県、鳥取県、島根県、山口県、香川県、愛媛県、高知県、徳島県

【九州・沖縄地方】  
福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

## 【回答者プロフィール】

### ◆ 居住地（回答数 9,600人）

	男性	女性
北海道・東北	10.8%	11.0%
関東	36.2%	34.9%
中部	18.2%	17.6%
関西	15.8%	16.7%
中国・四国	8.2%	8.4%
九州・沖縄	10.8%	11.4%

### ◆ 雇用形態（回答数 9,600人）

	男性	女性
会社員・公務員・教員・団体職員	71.0%	38.8%
会社役員・経営者	4.3%	1.0%
契約・派遣社員	5.6%	12.2%
アルバイト・パート	7.0%	40.6%
自営・フリーランス	12.1%	7.4%

男性では、「学び事・習い事」の実施率が最も高い年齢帯は「25～29歳」。一方、学び事・習い事を実施したことはないと答える人の比率は年齢を問わず一貫して50%以上となっている。学び事・習い事を実施する人・しない人が二極分化していることが推定される。

男性の勤務先の指示以外での「学び事・習い事」の実施率（「現在も継続している」「1年以内にしたことがある」の合計）は25～29歳の年齢帯が最も高く（24.9%）、続いて30～34歳（同：23.0%）。実施率はその後、年齢帯が上がるにつれて低くなっていき、「60～69歳」では9.0%という結果となった。年齢帯が上がるほど学び事・習い事を実施しなくなっている様相がうかがわれる。

一方、学び事・習い事未経験者の比率（「したことはないし、したいと思わない」「したことはないが、したいと思っている」の数字の合計）は、34歳までの年齢帯では年齢が上がるごとに小さくなるが、「35～39歳」でまた上昇し、全年齢帯で50%を上回っている。本来、多くの人々が学び事・習い事を経験していれば、「したことはない」の比率は年齢が上昇するとともに小さくなっていくはずであるが、この結果からは、学び事・習い事を実施する人としない人が二極分化し、「学ぶ人は何度も学ぶ」「学び事を実施しない人はずっと実施しない」という状況にあることが推定される。

■ 学び事・習い事の実施率（年齢帯別比較・男性 単一回答）

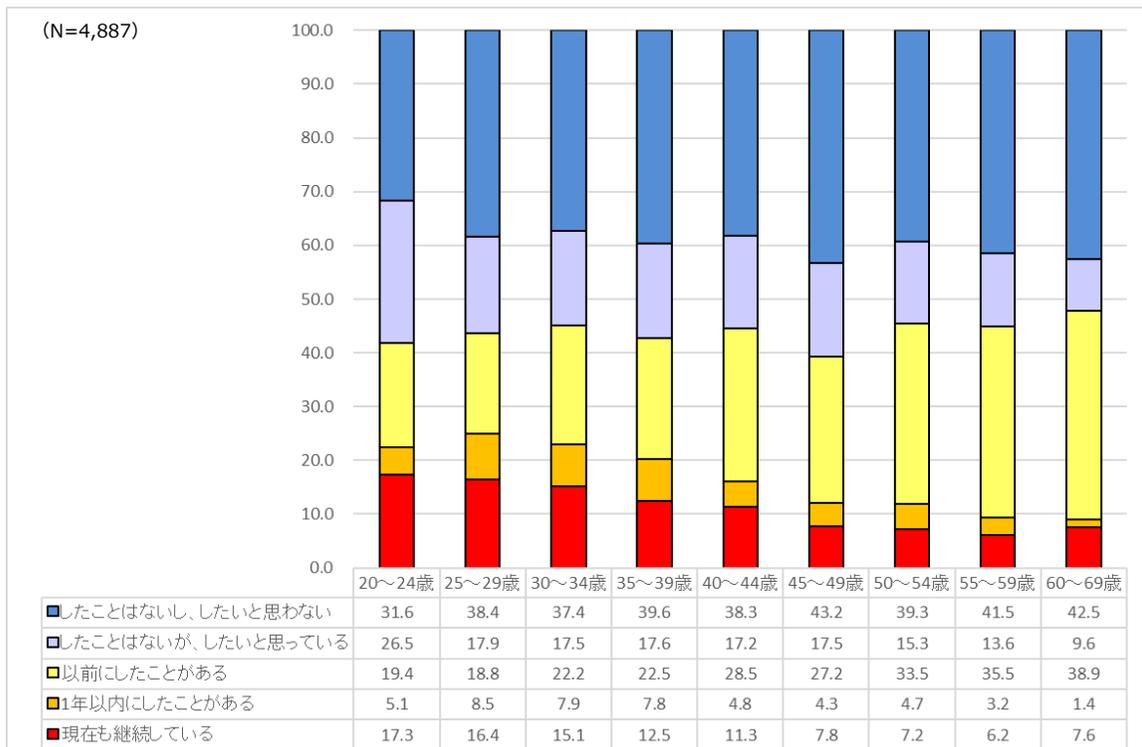
【質問文】あなたはこれまで、勤務先からの指示以外で、学び事・習い事をしたことがありますか。

【質問の際の注記】※学び事（習い事・学習含む）とは、趣味に関するものだけでなく「資格取得」などの仕事・スキルアップに関するものも含まれます。※継続的なものだけでなく、1回完結のものや短期集中講座のものを含みます。※先生（インストラクター等）に指導してもらったものも、通信教育も、全て含まれます。

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～69歳
この1年間での学び事・習い事の実施率(%)※1	22.4	24.9	23.0	20.3	16.1	12.0	11.9	9.3	9.0
学び事・習い事の未経験率(%)※2	58.2	56.3	54.9	57.2	55.4	60.8	54.6	55.1	52.1
集計数(人)	98人	414人	862人	409人	664人	798人	654人	633人	355人

※1 「現在も継続している」「1年以内にしたことがある」と答えた人の合計

※2 「したことはないし、したいと思わない」「したことはないが、したいと思っている」と答えた人の合計



(%)

女性では、年齢が若いほど「学び事・習い事」の実施率が高いという結果となった。一方で、男性と異なり、40歳以上でも実施率は大きく下がらない。また、学び事・習い事を実施したことはないと答える人の比率は年齢帯を問わず「5割前後」で大きな変化はなく、男性同様に学び事・習い事を実施する人・しない人が二極分化していることが推定される。

全国の働く女性に、この1年間でなんらかの学び事・習い事を実施したかどうかを問うたところ、学び事・習い事の実施率（「現在も継続している」「1年以内にしたことがある」と答えた人の合計）は「20～24歳」の年齢帯が最も高く、続いて「25～29歳」「30～34歳」が高くなる結果となった。実施率はその後、「55～59歳」の年齢帯で少し低くなり、「60～69歳」でわずかながら高くなる。子どもの教育費の負担がなくなり自分に使えるお金が増えている結果ではないかと推察される。

一方、「したことはないし、したいと思わない」「したことはないが、したいと思っている」の数字の合計は、50歳を過ぎても4割半ばであり変化がない。男性と同様、学び事・習い事を実施する人としていない人が二極分化し、「学ぶ人は何度も学ぶ」「学び事を実施しない人はずっと実施しない」という状況にあることが推定される。

■ 学び事・習い事の実施率（年齢帯別比較・女性 単一回答）

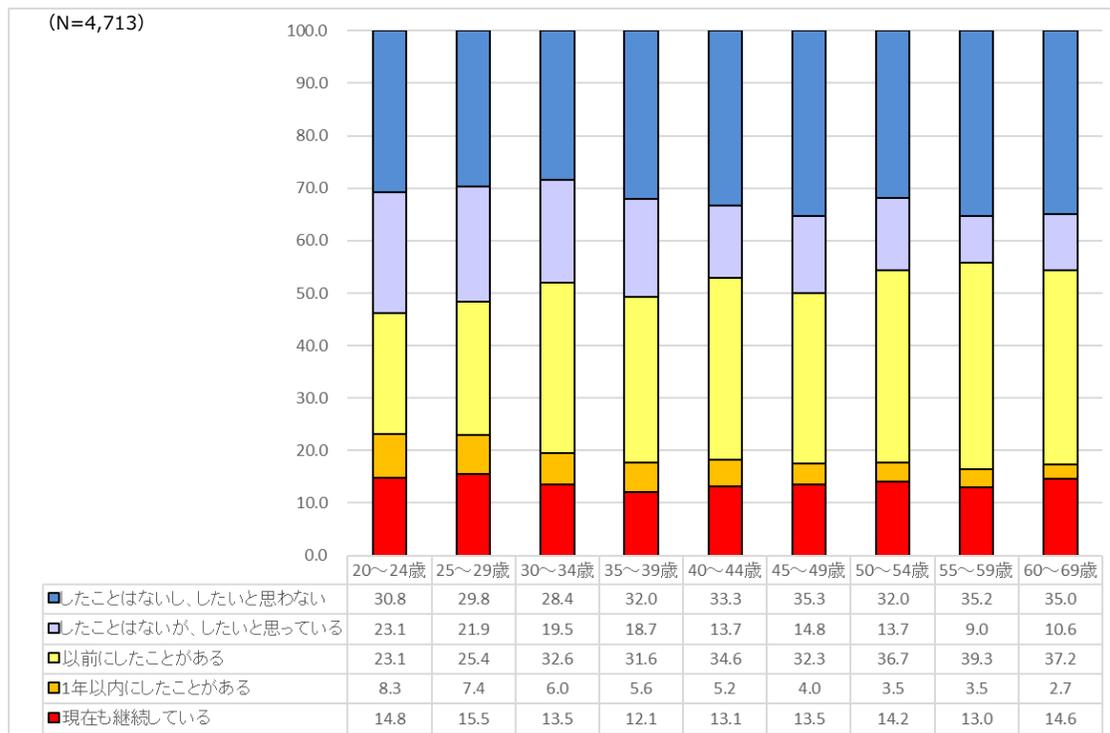
【質問文】あなたはこれまで、勤務先からの指示以外で、学び事・習い事をしたことがありますか。

【質問の際の注記】※学び事（習い事・学習含む）とは、趣味に関するものだけでなく「資格取得」などの仕事・スキルアップに関するものも含まれます。※継続的なものだけでなく、1回完結のものや短期集中講座のものを含みます。※先生（インストラクター等）に指導してもらったものも、通信教育も、全て含みます。

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～69歳
この1年間の学び事・習い事の実施率(%)※1	23.1	22.9	19.5	17.7	18.3	17.6	17.7	16.5	17.3
学び事・習い事の未経験率(%)※2	53.8	51.7	47.9	50.7	47.1	50.1	45.6	44.2	45.6
集計数(人)	169人	484人	651人	588人	633人	569人	848人	545人	226人

※1 「現在も継続している」「1年以内にしたことがある」と答えた人の合計

※2 「したことはないし、したいと思わない」「したことはないが、したいと思っている」と答えた人の合計



(%)

男女ともに、個人年収の高さが「学び事・習い事」の実施に与える影響が大きいという結果になった。

ほか、性別ごとに下記のような特徴がある。

- 男性 ・ 個人年収が400万未満の層では実施率が低く、未経験率も6割を超える。  
 将来のために学ぶ必要をたとえ感じていたとしても、学び事・習い事を実施するために金銭的・時間的余裕がないことが想定される。  
 ・ 逆に、個人年収「800万円以上」では実施率は上がり、未経験率も大きく低下。

- 女性 ・ 同じ個人年収で比較した場合、いずれの層も実施率は男性より高い。  
 特に個人年収が400万円を超えると実施率が上がる。  
 ・ 未経験率は男性同様、個人年収が高くなるほど低くなる。

(N=4,887)

男性・個人年収	現在も継続している	1年以内に にした事がある	それ以前 にしたこと がある	(%)		回答者数	(%)	
				した事は ないが、した いと思っ ている	した事は ないし、した いと思わ ない		実施率	未経験率
200万未満	9.2	3.2	27.6	11.8	48.2	500	12.4	60.0
200~400万未満	8.6	3.9	25.7	18.3	43.6	1204	12.5	61.9
400~600万未満	10.7	7.0	27.0	17.2	38.0	1309	17.7	55.2
600~800万未満	9.8	5.9	29.4	17.5	37.4	676	15.7	54.9
800万以上	13.6	6.9	36.7	11.9	30.9	580	20.5	42.8
わからない・無答	14.2	3.0	21.9	8.9	52.1	169	17.2	60.9

(N=4,713)

女性・個人年収	現在も継続している	1年以内に にした事がある	それ以前 にしたこと がある	(%)		回答者数	(%)	
				した事は ないが、した いと思っ ている	した事は ないし、した いと思わ ない		実施率	未経験率
200万未満	11.3	3.7	31.3	17.2	36.5	1954	15.0	53.7
200~400万未満	13.6	5.4	34.3	14.6	32.0	1348	19.1	46.7
400~600万未満	22.6	7.7	32.2	14.6	22.9	323	30.3	37.5
600~800万未満	22.3	3.2	37.2	9.6	27.7	94	25.5	37.2
800万以上	42.2	8.9	26.7	8.9	13.3	45	51.1	22.2
わからない・無答	12.0	8.2	34.3	15.5	30.0	233	20.2	45.5

「学び事・習い事」をしない理由は「学習費用」。  
 続いて、「仕事での疲労」「時間」「やってみたい学び事・習い事が見当たらない」

P3・4の質問で、学び事・習い事を実施「したことはないし、したいとは思わない」「したことはないが、したいと思っている」「以前にしたことがある」と答えた人に対し、学び事・習い事を実施しない（現在実施していない）理由を問うたところ、最も回答率が高かったのは「学習費用がかかる」となり、続いて「仕事で疲れていてやる気が起きない」「勉強時間がなく続けられなさそう」「やってみたい学び事・習い事が見当たらない」（複数回答）となった。

「授業時間帯や曜日が合わない」「通学が不便」「受講開始までの準備や下調べなどの手間がかかる」といった物理的な側面や、「職場の理解がない」といった環境面での項目はポイントが小さい。さらに、最もあてはまる理由（単一回答）を聞くと、「費用」に続き、「やる気」「関心」が挙げられている。学び事・習い事の実施については、費用面に続いて「やってみたいと思えるかどうか」という学び事へのモチベーションの側面が重要であると考えられる。

■ 学び事・習い事を実施しない理由（複数回答／最もあてはまる理由：単一回答）

（1年以内に学び事・習い事を実施していない人 集計人数N=7,946）

